

# 学校教育課 スクールソーシャルワーカー

本人の幸せを想う気持ちはみんな一緒



# 基本機能

## 1 制度上の位置づけ

### ▶ 学校教育法施行規則

「スクールソーシャルワーカー（SSW）は、小学校における児童の福祉に関する支援に従事する（中学校も準ずる）」

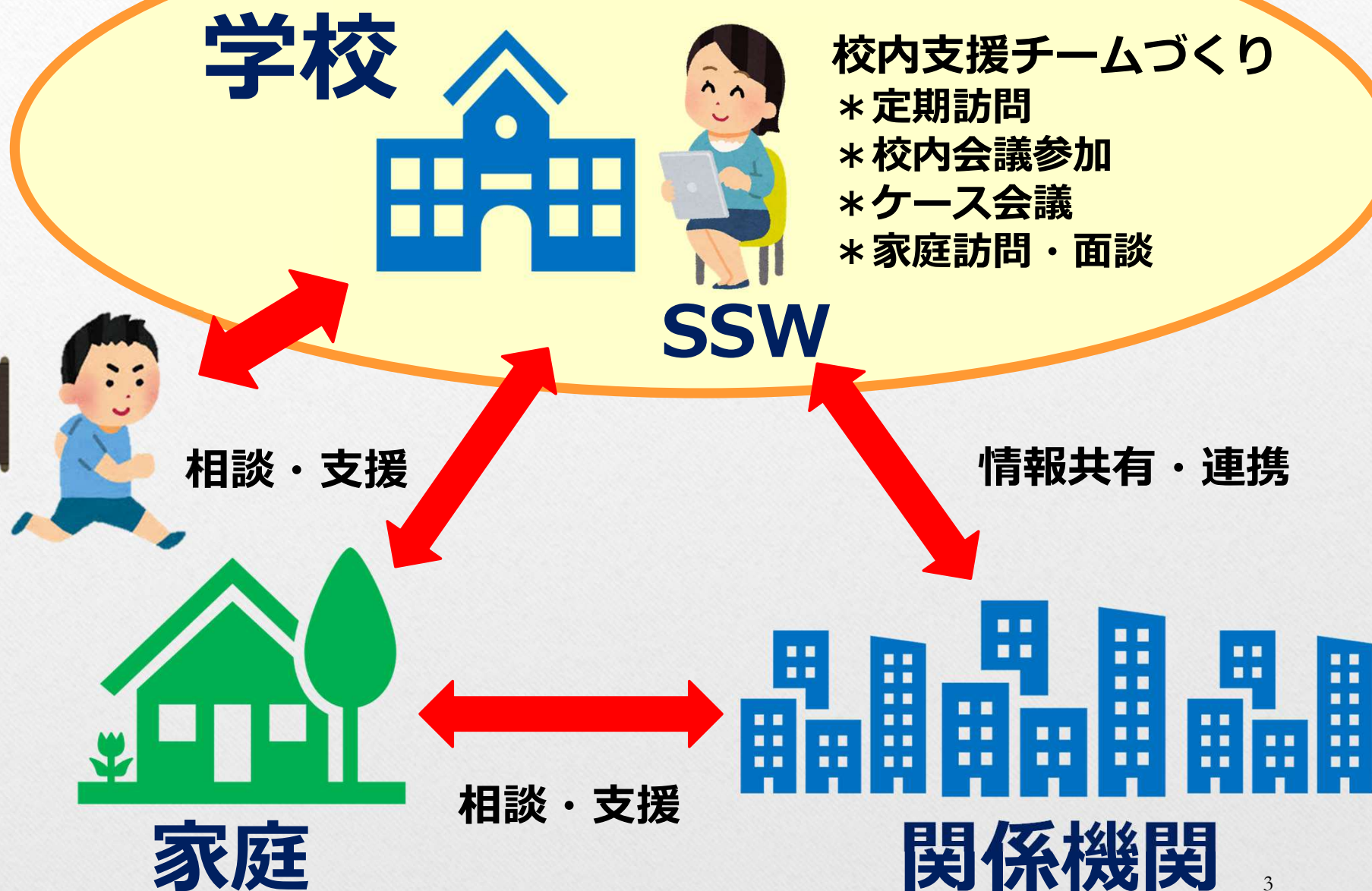
～経緯～ 課題の多様化 学校、家庭、地域等環境への働きかけ

- ▶ 令和7年度 春日井市学校教育課指導担当（市役所 9 階）  
正規職員6名、会計年度職員1名  
スーパーバイザー 2 名

## 2 支援対象者

- ▶ **学校生活上の課題**を抱える小・中学生、その保護者、教職員  
不登校・発達上の課題・家庭環境（貧困、親子関係）・いじめ・虐待・友人関係、心身の健康・保健に関することなど  
【令和6年度支援実績】  
事案件数 217件 本人支援145件 保護者支援161件

# 役割





# 特徴

🌸 学校には情報が点在している

- ・ 7名のSSWが 1 人あたり 2 ～ 3 中学校区を担当し、中学校を拠点に定期訪問（毎週 1 回程度）、小学校には随時訪問し活動している。

🌸 校内・校外連携した支援チームを整える

- ・ 「チーム学校」の中で、SSWは唯一の福祉職であり校内会議やケース会議で専門的助言・提案、福祉制度の周知を行う。
- ・ 学校と関係機関とのかけはしとなりネットワークを構築する。

🌸 学校（教育現場）を拠点にSWを行う

- ・ 学校文化・ルールにあわせて支援を組み立てる。  
（教職員の専門性、校内体制、行事・学期ごとの目標設定等）
- ・ 子どもや保護者と面談・家庭訪問するだけでなく、子どもと日々関わる先生方を支援（サポート）することが重要。

🌸 協働のためのワンポイント 🌸

SSWは**先生と一緒に**学校生活上の課題に対応します！